

大気汚染の自主的調査活動の重要性について ～兵庫県空気の汚れ調査 2020 を終えて～

東灘区・東神戸病院（内科・在宅科） 森岡 芳雄（医師）

大気汚染物質を自主的に測定することには幾多の意義があります。

ここ数年、確かに SO_x、NO_x、浮遊粉塵による大気汚染は軽減してきておりますが、それは景気の低迷、産業の空洞化によるところが大きく、NO₂ の低減は緩やかであり、未だに兵庫県南東部を中心に改悪後の環境基準さえ守れていない地域が存在しています。

2020 年度の兵庫県空気の汚れ調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、測定時期を遅らせて 2020 年 10 月 22-23 日に渡って行われました。県全体では 23 団体 13 個人から 1,485 個が回収されました。2010 年度から兵庫保険医協会参加検体の分析を個別に開始して、2020 年で 11 年目、今年で 12 年目になります。今回は、兵庫県保険医協会の測定分と全体の比較分析なども交えて報告できたらと思っております。

神鋼が 130 万 Kw の石炭火力発電所の増設計画を市民、県民を欺きながら裁判で係争中にもかかわらず、着々と進め、既に一部では操業試験が行われるに至っています。神鋼石炭火力発電所増設計画の現状についてもご報告させていただきたいと思えます。

なお、調査活動へのご理解とご支援を 2020 年度の調査報告書の冊子版、CD-ROM 版のご購入を協会事務局を通じて行っていただければ幸いです。